

平成26年度 事業計画の基本フレーム

【基本方針】 『鳥取の元気、会員の元気』

企業の存続発展と地域経済活性化に全力を挙げるとともに、県・市・関係団体と連携し、観光・文化の振興、企業誘致、地場産業の育成、U I Jターンの促進に一体となって取り組む。

5つの事業骨子

1. 企業の経営基盤強化～需要創造・販路拡大・農林水産商工連携・新事業展開への支援
2. 交流と連携による仕事づくり～ビジネスチャンスの創出
3. 魅力ある地域づくり～賑わいづくりと観光・文化の振興
4. 他機関との連携と適時適切な政策提言・要望活動の展開
5. 経営基盤・組織の強化と会員サービスの充実

重点項目

1. 企業の経営基盤強化 ～需要創造・販路拡大・農林水産商工連携・新事業展開への支援

- 厳しい経営環境を踏まえ、事業者のニーズにマッチしたきめ細かな経営支援
- 経営課題の解決に向けた専門的な経営支援と、各種法認定等計画策定支援
- 地域資源の活用や農林水産商工連携による新たな商品・サービスの開発およびマッチング支援
- 消費税改正に伴う事業者の消費税転嫁の円滑な対応のための相談・支援
- 地域経済の新陳代謝の源泉となる創業、第二創業への積極的支援

2. 交流と連携による仕事づくり

- 関西圏との経済交流による県外市場との取引機会の創出
- 広域観光へ向けた但馬・京丹後・隠岐地方との連携・交流促進
- ものづくり製造業の連携による新技術(製品)開発を目指した調査・研究への支援

鳥取と会員の元気

3. 魅力ある地域づくり

- 中心市街地活性化協議会を通じた商業活性化と賑わいの創出
- 行政と協働した山陰海岸ジオパーク活動の推進
- 食・歴史・文化等を活かした観光振興の促進と鳥取観光の魅力発信

4. 他機関との連携と政策提言・要望活動

- 行政と連携した各種施策の推進
- 支援機関との連携による支援事業の展開
- 直面する課題についての提言・要望活動
- 活発な部会・委員会活動

5. 組織基盤の強化と会員サービスの充実

- 組織維持拡大のための会員増強の取組み
- アクサ生命との連携による共済加入促進
- 組織力強化への中長期視点での検討
- 情報提供の促進による会員サービス充実
- 職員の資質向上と組織運営の円滑化

具体的実施内容

1. 企業の経営基盤強化～需要創造・販路拡大・農林水産商工連携・新事業展開への支援

- (1) あらゆる中小企業関連施策を総動員し、厳しい経営環境にある事業者の視点に立脚したきめ細かな経営支援、円滑な事業継続を図る。
 - ・ 地域を支える中小企業の経営基盤強化に向けた支援推進
 - ・ 小規模事業者等経営支援交付金による経営改善普及事業
- (2) 国が実施する「中小企業・小規模事業者ビジネス創造等支援事業」に連携協力し、地域プラットフォームへの参画や専門家派遣を通じ、当地域の中小企業等の高度・専門的な経営課題に取り組むことと合わせ、新分野展開・新市場開拓の支援。
 - ・ 鳥取県版経営革新計画支援事業
 - ・ 中小企業新事業活動促進法における経営革新計画策定支援事業
 - ・ 新連携、地域資源活用による法認定への支援
 - ・ 需要開拓推進事業
- (3) 農林水産商工連携・地域資源活用による新商品開発、販路開拓、法認定支援
 - ・ 農林水産商工連携による新たな商品やサービスの開発、マッチング支援及び施策事業による法認定申請支援
 - ・ 専門家派遣による商品クリニック、首都圏における商品プロモーション等販路拡大支援
 - ・ 鳥取県経営力強化緊急支援事業（需要創出等推進事業）の活用
- (4) 中小・小規模事業者が、消費税率引上げ分を円滑に価格転嫁できるよう「消費税転嫁対策窓口相談事業」を行う。
 - ・ 巡回・窓口相談、講習会、個別相談等
 - ・ 転嫁拒否等の取り次ぎ
 - ・ 巡回指導型専門家派遣→転嫁等カルテル組成支援等
- (5) 雇用の創出や地域経済に新陳代謝の源泉となる創業・第2創業に対する積極支援を行う。
 - ・ 創業者向け補助金の活用
 - ・ 創業塾、創業セミナーの開催
 - ・ 産業競争力強化法に基づく創業支援
 - ・ 創業後の定期的、継続的なフォローアップの実施
- (6) 「ザ・ビジネスモール」の有効活用
 - ・ ザ・ビジネスモールのサイト登録を促し、その活用による“ビジネスマッチング”を推進する。
- (7) 職業訓練を活用して自社のニーズに合った人材の育成・確保を図る中小企業を支援するため、ジョブ・カード制度の普及促進を図る。

- ・採用面接等のツールとして活用する「ジョブ・カード普及サポーター企業」の開拓
- ・職業訓練を実施するための計画の確認済・認定企業の発掘
- ・ジョブ・カード普及促進企業説明会の開催

2. 交流と連携による仕事づくり～ビジネスチャンスの創出

- (1) 鳥取自動車道の全線開通後、及び、山陰近畿自動車道の開通をにらみ県外マーケットを視野に入れた受注販売力強化事業（製造業をはじめとする交流会の実施、商談会への参画）を行い、取引の拡大を図るための交流を促進する。
 - ・工業部会による関西圏との交流事業の実施によりビジネスマッチング・企業誘致の需要掘り起こし
- (2) 鳥取県東部地方と兵庫県但馬、京都府京丹後、島根県隠岐地方との連携による相互の観光資源を活用した「広域観光圏」の確立に向けた交流活動を展開し、仕事づくりの発掘につなげる。
 - ・宮津・豊岡・鳥取商工会議所交流会、懇談会の実施
- (3) 複数の会員事業者（中小企業）有志の連携による“売れる新商品の開発、（調査・研究・試作・開発）を目指す。
 - ・支援の核として、「鳥取技術交流プラザ」を拡大・再起動する。
 - ・「鳥取県経営力強化緊急支援事業」及び、「鳥取市先進的・モデル的事业」の助成制度の活用を図る。

3. 魅力ある地域づくり～賑わいづくりと観光・文化の振興

- (1) 「鳥取市中心市街地活性化協議会」に対する運営支援及び連携を行うと共に、チャレンジショップ運営、市民交流ホールの運営、各種イベントの実施、まちおこし団体等への支援を行い、中心市街地の商業活性化や賑わい創出を図る。
 - ・チャレンジショップ事業、空き店舗入居促進による新規創業者支援、まちなか就業（雇用の場）の創出を図る。
 - ・まちおこし隊支援事業、市民交流ホール運営によるまちづくりの担い手育成と中心市街地の賑わい創出を図る。
 - ・第2期基本計画に対し、積極的関与と協力・支援を行う。
 - ・少子高齢化対策としてシニア層が安心して買い物出来る商店街づくりの支援を行う。
 - ・鳥取駅前の利便性向上、また鳥取らしさを発信するものづくりを提案する。
→横断歩道の整備・足湯・砂時計等
- (2) 行政等と協働して「山陰海岸ジオパーク」の活動をよりいっそう積極的に推進する。
 - ・山陰海岸ジオパーク展の実施
 - ・山陰海岸ジオパーク、各イベントへの積極的な協力・支援
 - ・山陰海岸ジオパーク但馬・京丹後地区及び隠岐ジオパークとの連携強化によるルート開発（ジ

オパークの横歩き)

- ・日本ジオパークの認定を目指している南紀熊野ジオパーク推進協議会との連携を検討する
- (3) “観光新名所”の広報・宣伝活動と他地域との差別化を図るために「鳥取の食（海産物・農産物）及び歴史文化等の地域資源の見直しにより、通年観光客の増加と滞留性の向上を図る。
 - ・鳥取砂丘「砂の美術館」や鳥取城跡周辺、国指定・有形登録文化財等の周知、広報の支援 → 歴史文化等を活かしたまちづくり、また中心市街地を楽しく回遊してもらうような一体的な観光エリアの創出に取り組む
 - ・「鳥取県の食」をアピールしていくため調査研究
- (4) 近隣自治体、商工団体との連携により他地域との新たな観光ルートの検討
- (5) 航空路線をはじめ、二次交通や公共交通の利用促進に向けた取り組み
 - ・鳥取空港5便化の利用促進
- (6) 文化、芸術振興を図るため美術館・工芸村・映画館建設の調査・検討・要望、提言活動を行う。
 - ・自治体等との連携、情報を共有する

4. 他機関との連携と適時適切な政策提言・要望活動の展開

- (1) 鳥取県、鳥取市をはじめ、他の経済団体等との連携をいっそう強化し、各種施策の実効性を高める。
 - ・鳥取市との定期懇談会の開催
 - ・最低賃金の問題等、鳥取県経済団体連絡協議会との強化連携
 - ・中四国南北軸交流懇談会への参加
 - ・中国経済連合会事業への参画
- (2) “雇用問題”の解決に向けて、各行政機関との連携をいっそう強化する。
 - ・鳥取県及び鳥取市緊急雇用対策会議への参画と連携強化
 - ・鳥取県地域訓練協議会、鳥取県地域ジョブ・カード運営本部への参画
 - ・鳥取市雇用創造協議会への参画
 - ・地元大学・高校と連携し地域の中小・中堅企業が求める人材の確保・定着を支援する。
- (3) 「とっとり企業支援ネットワーク」へ引き続き参加し、チーム企業診断、チーム支援を通じ、支援機関との連携をいっそう強化することによる中小企業の経営安定化を図る。
 - ・とっとり企業支援ネットワーク連携強化事業
- (4) 道路、鉄道、港湾、空港など産業全般や市民生活・地域振興に多大な影響を及ぼす社会資本整備について提言する。
- (5) 「山陰近畿自動車道」の早期完成や「山陰新幹線」の建設などについて要望活動を行う。

- (6) 税制、雇用、金融などの企業経営に密接に関連する政策については、関係機関と連携をとりながらその実現に向けた政策提言活動を展開する。
- (7) 「中国地域発展推進会議」参画による提言活動の実施。
- (8) 広く会員から意見を聞き、業界が直面する課題等について政策提言活動を行う。

5. 経営基盤・組織の強化と会員サービスの充実

- (1) 当会議所のビジョン・中期計画策定に向けた「政策委員会」の立ち上げ
 - ・政策委員会活動の始動
 - ・鳥取商工会議所中期計画の策定
- (2) 組織の強化と福利厚生事業の拡充
 - ・会員増強による組織力強化
(役員・議員事業所による新会員紹介、職員による会員増強の展開)
 - ・共済制度推進の強化
(BWCキャンペーン推進とアクサ生命との連携強化、「わかとり共済」増口キャンペーンの推進)
- (3) 組織運営の円滑化と充実
 - ・各種会議の開催
(会頭・副会頭会議、運営委員会、常議員会、議員総会、監事会)
 - ・各部会・委員会の活動の充実
 - ・女性会、青年部活動の支援
 - ・事務局体制・機能の強化と職員の資質向上(中小企業診断士)資格取得等)
- (4) 財政運営の健全化
 - ・商工会議所ビルの会議室等の利用促進(使用料収入の増加)を図る。
 - ・「財政問題小委員会」において財政基盤の強化を検討する。
 - ・当所施設整備など事業継続計画(BCP)の管理の検討をする
- (5) 調査・広報活動による会員サービスの充実と情報提供の促進
 - ・会員事業所のPR促進、経営情報の発信など会員サービス事業の活発化
 - ・所報の発行、HP、メールマガジンの配信など、広報活動の充実とスピーディーな情報提供
 - ・ザ・ビジネスモールサイトへの登録促進とビジネスマッチングの推進
 - ・調査事業の適時・的確な実施と会員への反映
 - ・会館1階“展示スペース”の運用の充実(会員企業の利用促進など)